

「新指定・新登録・新選定」答申物件

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】 10件

1 ^{くりきつざんあと}栗木鉄山跡【^{けせんぐんすみたちょう}岩手県気仙郡住田町】

北上高地の^{けせんがわ}気仙川水系の川沿いに位置する、明治13年(1880)から大正9年(1920)にかけて操業した民営の製鉄所跡。二基の^{こうろあと}高炉跡、事務所跡、水路跡、^{いもの}鋳物工場跡などを検出。八幡や釜石での鉄鉱石による近代製鉄が本格化する前の遺構として重要。

(明治13年(1880)から大正9年(1920)まで続いた民営の製鉄所跡)



提供：住田町教育委員会

2 ^{てんのうやまいせき}天王山遺跡【^{しらかわし}福島県白河市】

東北における弥生時代研究において学史的にも極めて重要な遺跡であり、弥生時代後期前半における集落の立地や構造、多量の^{しょくぶつしつぷつ}植物質遺物から想定される生業や食生活など、当時の社会構造を知る上でも重要。

(東北の弥生時代研究において学史的にも極めて重要な集落遺跡)



提供：白河市

3 ^{とりかけにしがいづか}取掛西貝塚【^{ふなばしし}千葉県船橋市】

東京湾東岸部に立地する縄文時代^{そうきぜんよう}早期前葉の貝塚を伴う集落。^{ぜつじょう}舌状台地上に東西約320mにわたり58棟に及ぶ^{たてあなたもの}竪穴建物と^{どころ}土坑が分布し、関東最大級の規模をなす。獣骨を並べた^{じゅうこつ}儀礼跡とみられる遺構も発見され、早期前葉の生業と環境、精神文化を知る上で重要。

(東京湾東岸部に立地する縄文時代^{そうきぜんよう}早期前葉の貝塚を伴う集落遺跡)



提供：船橋市教育委員会

4 飯盛城跡【大阪府大東市、四條畷市】

戦国時代、畿内一円を支配した三好長慶が拠点とした山城跡。標高314mの飯盛山に築かれ、東西約400m、南北約700mで西日本有数の規模を誇る。北エリアの防御空間の曲輪群と南エリアの居住空間の曲輪群からなり、城の全域に石垣が多用されていた。戦国時代の政治・軍事を知るうえで貴重。

(戦国時代、畿内とその周辺を支配した有力大名・三好長慶が拠点とした西日本有数の規模を誇る山城跡)

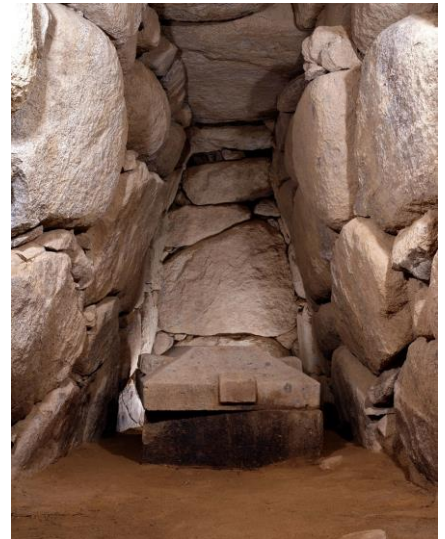


提供：大東市・四條畷市教育委員会

5 條ウル神古墳【奈良県御所市】

奈良盆地南西端、巨勢山丘陵支尾根先端部に立地する古墳時代後期の古墳。全長15.6m以上、玄室高4.2mに及ぶ巨大な両袖式の横穴式石室に、特異な家形石棺、希少な副葬品を納める有力な首長墳であることから、当時のヤマト政権中枢と古代氏族の関係を考える上で重要な古墳。

(奈良盆地南西部に築造された巨大な横穴式石室と特異な家形石棺を有する首長墓)



提供：御所市教育委員会

6 伊勢本街道【奈良県宇陀郡曾爾村】

西国から大和を経て伊勢神宮に参詣することを目的として、近世を通じて最も利用された街道。近世における伊勢信仰及び参詣の様相を明らかにする上で重要。旧道が良好に残る山粕峠と鞍取峠を指定する。

(西国から大和を経て伊勢神宮に参詣することを目的として、近世を通じて最も利用された街道)



提供：曾爾村教育委員会

7 久喜銀山遺跡【島根県邑智郡邑南町】

中国山地に位置する、銀を含んだ鉛鉱石（方鉛鉱等）を産出した戦国時代から近代にかけての鉱山遺跡。戦国から江戸初期と推定される露頭掘跡、鉱石を加熱する焼竈跡、製錬炉跡、近代の精錬所跡などがある。数少ない方鉛鉱を産出する鉱山の調査例として貴重。

（中国山地に位置する、銀を含んだ鉛鉱石を産出した戦国時代から近代にかけての鉱山遺跡）



提供：邑南町教育委員会

8 佐田谷・佐田峠墳墓群【広島県庄原市】

弥生時代中期末から後期前葉にかけて築造された、四隅突出型墳丘墓3基、方形台状墓4基、方形周溝墓1基からなる墳墓群。弥生時代における墳丘築造と埋葬の関係、埋葬施設の配置、墳墓祭祀の変遷を知ることができる事例として重要。

（弥生時代中期末から後期前葉にかけての、四隅突出型墳丘墓など8基からなる墳墓群）



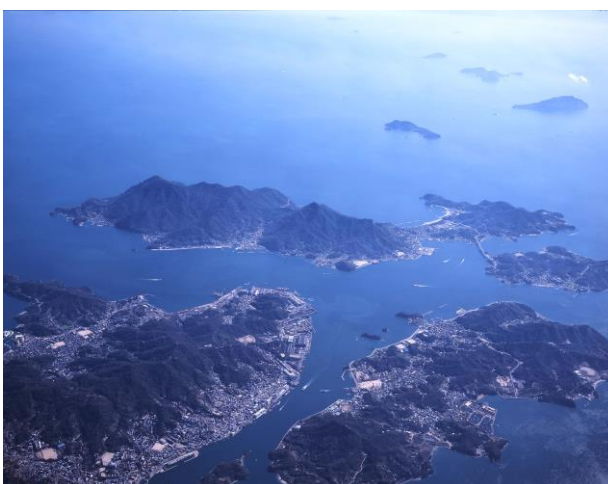
提供：広島県教育委員会

9 弓削島荘遺跡【愛媛県越智郡上島町】

12～15世紀、瀬戸内海の弓削島に置かれた荘園。東寺領となり塩を上納したことで著名。発掘調査、文献調査等に基づき、荘園に関わる大田林の塩浜、東泉寺、高浜八幡神社、願成寺、弓削神社、定光寺、及び弓削島の北東に位置する百貫島とその周辺海域を指定する。

我が国中世の社会経済を知るうえで貴重。

（12～15世紀、瀬戸内海の弓削島に置かれた荘園。東寺領となり塩を上納したことで著名）



提供：上島町教育委員会

10 ^{じんのうちじょうあと}陣ノ内城跡 ^{かみましきぐんこうさまち}【熊本県上益城郡甲佐町】

^{ひごのくに}肥後国における中世城館の中でも突出した規模を持つ保存状態が良好な城跡で、水陸交通の要衝に長期間にわたって継続的に維持されたと考えられる。阿蘇氏から豊臣系大名による肥後国支配へと転換する時期の政治的、社会的状況を考える上でも重要。

(肥後国における中世城館の中でも突出した規模を持つ保存状態が良好な城跡)



提供：甲佐町教育委員会

【名勝】 1件

1 ^{がりゅうさんそうていえん}臥龍山荘庭園 ^{おおずし}【愛媛県大洲市】

明治後期に実業家河内寅次郎（1853～1909）が^{ひじかわ}肱川沿いの景勝地に造営した庭園。^{ふち}淵に臨む崖の上に書院や茶室が配置され、対岸には蓬萊山と名付けられた島が浮かぶ。周囲には^{かめやま}肱川、^{とみすやま}亀山、富士山などが広がり、それらも景観の要素として取り込む。

(明治後期に実業家河内寅次郎が^{ひじかわ}肱川に臨む景勝地に造営した庭園)



提供：大洲市教育委員会

【天然記念物】 1件

1 ^{いもうしつげん}葦毛湿原 ^{とよはしし}【愛知県豊橋市】

国内最大級の湧水湿地であり、東海地方に固有・準固有あるいは隔離分布する^{とうかいきゅうりょう}東海丘陵要素植物の主要な生育地。氷期の遺存種である^{かんちけい}寒地系植物、熱帯アジアに分布の中心がある^{だんちけい}暖地系植物、大陸系遺存植物が混在して生育する特徴を有し、生態学的、植物地理学的に価値が高い。

(^{とうかいきゅうりょう}東海丘陵要素植物、^{かんちけい}寒地系植物、^{だんちけい}暖地系植物、^{たいりくけいぞん}大陸系遺存植物が生育する国内最大級の湧水湿地)



提供：豊橋市教育委員会

《登録記念物の新登録》

【名勝地関係】 2件

1 松樹館庭園【滋賀県東近江市】

幕末から明治前半に活動した作庭家勝元宗益（鈍穴）（1810～1889）の作と伝わる近江商人松居氏の庭園。主屋から見ると、手前のゆるやかな高まりを回り込むように飛石が奥へと続き、その先の低めの築山には大ぶりの石燈籠や景石を配置する。

（幕末から明治前半に活動した作庭家勝元宗益（鈍穴）（1810～1889）の作と伝わる近江商人松居氏の庭園）



提供：所有者

2 漢陽寺庭園【山口県周南市】

昭和40年代に作庭家の重森三玲（1896～1975）が禅宗寺院に造った庭園。水の流れを主体とする「曲水の庭」、枯山水の「地藏遊化の庭」、石組と池泉を中心とする「九山八海の庭」など、大きさや様式の異なる複数の庭園から成る。

（昭和40年代に作庭家の重森三玲が禅宗寺院に造った複数の庭園）



提供：周南市教育委員会

《重要文化的景観の新選定》

【重要文化的景観】 1件

1 錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観【山口県岩国市】

錦川が隔てる土地に築かれた岩国城下町に由来する文化的景観である。川の特性を踏まえた都市づくりから特徴ある景観が生まれ、それが名所となって物見の賑わいをもたらし、経済活動や文化活動の活力を支えるという、自然と都市と産業の関連性を示しており、独特である。

（錦川下流域における自然と都市と産業の関連性を伝える城下町由来の文化的景観）



提供：岩国市